

宮城県二迫川上流域

[二迫川・ヒアヒクラ沢・シヅミクラ沢・マダラ沢・小野松沢]



地形地質 二迫川上流域では緩い傾斜の台地周辺に地すべり地形が発達しています。地質は砂岩・泥岩互層の上に軽石凝灰岩・溶結凝灰岩が分布しているのが特徴です。

被災状況 ヒアヒクラ沢源頭部とシヅミクラ沢、マダラ沢に山腹崩壊が集中しています。シヅミクラ沢では大規模な山腹崩壊や荒砥沢地すべりの移動土塊による河道閉塞が発生しました。崩壊箇所は111箇所、不安定土砂発生量は約865万m³です。荒砥沢地すべりを含めると7,600万m³近い不安定土砂量となり、岩手・宮城内陸地震による山地災害によって発生した不安定土砂量の大半を占めています。



ヒアヒクラ沢 山腹崩壊全景



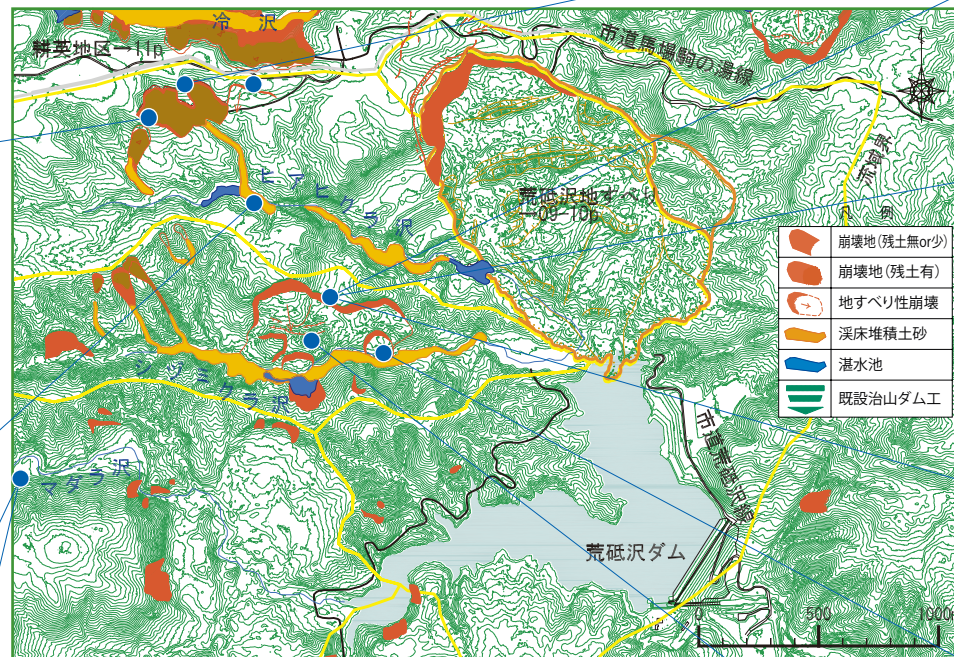
シヅミクラ沢 地すべり全景



ヒアヒクラ沢 山腹崩壊地内の荒廃状況



ヒアヒクラ沢 下流の溪流荒廃状況



※荒廃現況図 代表的な区域と山腹崩壊地を掲載
(マダラ沢で発生した土石流は図面の範囲外)



シヅミクラ沢 地すべり全景と湛水状況



シヅミクラ沢 地すべり頭部からの全景



マダラ沢 山腹崩壊と土石流



マダラ沢 土石流発生源の山腹崩壊



シヅミクラ沢 地すべり地内の荒廃状況と末端部湛水状況



シヅミクラ沢 地すべり末端部と溪岸荒廃状況